

FUJIEDA ROTARY CLUB Weekly Bulletin

例会：毎週水曜日 小杉苑 藤枝市青木2-2-48 TEL 054-641-3321
事務局：藤枝市青木1-9-16 TEL 054-647-2300 FAX 054-647-2040
E-mail club1972@fujieda-rotary.org



椿
写真提供：事務局

会長：村松英昭 副会長：小宮弘一郎
幹事：後藤 功 副幹事：青島 彰

2006-2007年度
RIテーマ

第1691回



率先しよう

ウィリアムB. ボイド

<ソング> それでこそロータリー
<ソングリーダー> 竹田 勲君

会長報告

村松 英昭君

先日の11月3日の文化の日に、平成18年度藤枝市表彰式が行われました。当日式に参列いたしました。6名の方が表彰されました。その時頂いた藤枝市表彰受賞者名簿をみましたら、昭和54年に西野繁夫君、63年に鈴木吉郎君、平成元年に石川清君、8年に岩田規君、9年に鈴木晶一郎君、16年に江崎友次郎君の6名の私たちの仲間がすでに受賞されていました。皆さん各々の業界で活躍していたのだと改めて思いましたと同時に誇りに思いました。また、昭和57年に藤枝ロータリークラブが社会福祉功労として表彰されていました。

その名簿のはじめに、藤枝市民憲章が載っていましたので読ませていただきます。

わたくしたちは藤枝市民であることに誇りをもち、健康と安全を増進し、教育と福祉の充実に努め、文化や産業を向上させて、限らない発展と平和を築くようこの憲章を定めます。

恵まれた自然を大切に、美しいまちをつくりましょう。

丈夫なからだをつくり、活力のあるまちをつくりましょう。

豊かなこころを育て、あかるいまちをつくりましょう。

温かい家庭を築き、住みよいまちをつくりましょう。

仕事にはげみ助け合い、伸びゆくまちをつくりましょう。

とありました。ぜひ、みなさまこのような町に藤枝市をしまししょう。

理事会報告

後藤 功君

- 11月、12月のプログラムが増田プログラム委員長より報告があり承認されました。
- 竹田指名委員長より2007年～08年度副会長に青島克郎君、副幹事に仲田廣志君にそれぞれご承諾頂いた旨報告があり承認されました。
- CLP組織編成についてCLP委員、櫻井龍太君より報告があり、承認されました。
- 前島親睦委員長よりクリスマス夜間例会は松風閣で開催したい方向で検討中であり、尚詳細については次回の理事会に諮りたい旨報告があり承認されました。
- 第5分区主体の放置自転車寄贈について、国際奉仕委員会の事業の一環として取組んでいく事で承認されました。
- 白山RCの40周年が2007年4月14日(土)に開催されますがこの機会に家族旅行(14、15、土、日)を計画したらどうか案がだされ、今後親睦委員会と協議しながら前向きに検討していくことで承認されました。

幹事報告

後藤 功君

- 静岡西RC, IM実行委員会よりインターシティミーティング登録の依頼が届いております。
- IM登録に際して、「職業奉仕実践しているロータリアン」の方々を紹介するという事で我がクラ

ブではその対象者宮崎啓之進君の出席依頼が届いております。

尚、出席義務者の方々へIM開催のご案内を送付致します。

- G S E 研究グループの交換資料が届いております。
- ロータリー友事務所より「全国ローターアクトクラブ名簿」「2006～07年度ロータリー財団国際親善奨学生名簿」が届いております。
- 地区インターアクト委員会より、地区インターアクト指導者講習会開催のご案内が届いております。

出席報告

青島 彰君

本日のホームクラブ 出席者	前回の補正出席者
27 / 41 65.85%	26 / 41 63.41%

(1)欠席者(事前連絡とメイクアップをどうぞ)

鈴木廣君 松葉義君 望月俊君 山田君
宮川君 浅川君 板倉君 池ノ谷君 桜井富君
杉浦君 鈴木晶君 鈴木舜君 仲田晃君
望月志君

スマイルBOX

青島 彰君

- 小生去る11月3日(文化の日)産業振興に寄与したとのことで静岡県知事表彰をいただきました。当クラブからも過分な御祝儀をいただきありがとうございました。

藤枝RCの活動資金としてお使いしていただく寄付金(お礼) 鈴木 廣利君

- 誕生祝をありがとうございます。 水野 義猛君
- 当年(十年)として54才になりました。どうもありがとうございます。妻も62才、いつまでも元気でくらす様祈っています。

結婚して40年孫ももうじき5人目が生まれます。どうもありがとうございます。村松 宏一君

- 28回目の結婚記念日を迎えることが出来ました。これもひとえに自分の忍耐強さのお陰です。これからも頑張ります。 北村 幸男君

スマイル累計額 500,268円

テーブルメイトBグループ

『財団奨学生について』

柳原 寿男君



11月はロータリー月間です。先週は平成15年に財団より奨学金を受賞され、カリフォルニア大学癌センターへ留学された産婦人科医師の鈴木美香先生を浜松よりお招きして卓話をしていただきました。

ロータリー財団国際親善奨学生として最も有名な方に、前国連難民高等弁務官で現在は独立行政法人国際協力機構理事長の緒方貞子氏が挙げられます。ロータリーの友11月号に「世界を横につなぐ」と題して講演要旨が掲載されておりますので是非ご一読下さい。1951年に大学を卒業して9月に日本で二番目のロータリーフェローとなって、ワシントンのジョージタウン大学に留学されたとの事です。

国際親善奨学金は民間レベルでは世界最大規模の奨学金制度で、財団創立以来全世界の奨学生数約37,000人、日本ではこれまでに7,657人、当地区ではこれまで340人、年間日本で200～240人、当地区に限ると7名前後との事です。尚、当地区の過去の実績では留学先はアメリカ159人、フランス38人、イギリス39人、ドイツ19人、イタリア18人、カナダ12人・・・となっています。

石垣 善康君



私達の日常生活における、安全、治安の事で話させていただきます。私

達の安全を守ってくれる警察の事をまず話します。藤枝警察の署員は現在146名です。その管轄は岡部、大井川、そして藤枝市となり、全人口は約170,000人弱、警察官一人で1,000人から2,000人の市民の安全を担当している事となります。

犯罪についてご説明します。

1月から9月までの交通事案を除く犯罪は1,200件、一日あたり4件から5件発生しています。その内容は、空き巣、事務所荒らし、自転車盗、ひったくり、痴漢等で、特に空き巣が増加しています。そして検挙率は25%、残りの犯罪者が逮捕されず、私達の周囲にいるという事になります。警察官の数、そして犯罪の発生件数、逮捕率から考え何時、犯罪の被害者になってもおかしくない環境です。

私の体験談を話します。

現在の音羽町に住んでから、20数年が経ちました。昨年までは犯罪の被害にあったことは一度もありませんでした。それが今年に入り2月に自宅の車庫の車が車上狙いにあい、窓ガラスを割られてしまいました。4月にも同様でした。そして、9月には自宅の庭に面した前面ガラス戸にキズが入っており、もし、ホームセキュリティーが無かったら侵入されていたと思います。

その原因は、道路の通行が一時期、変わってしまい、部外者の通行が増え、その中に犯罪者が存在し、被害にあったと思います。

今までは、安全だった私達の身の回りがチョットした環境の変化で犯罪の被害者になってしまう、そんな時代になってしまいました。

考えるのは、もはや安全はタダではない、自分で出来ることは自分で守る、私は、駐車場にセンサーライトをつけました。5,000円、そしてホームセキュリティーに360,000円、月間契約料が5,000円、以上の投資をし、安全を確保しています。

『お客様情報の適正な保護を目指して』

前島 章男君



個人情報保護については、「個人情報保護に関する法律」が平成17年4月1日から全面施行されたこと、また近年、企業の保有する個人情報の漏洩が相次いだことから、世の中の関心が非常に高くなっているのは、日々のニュースや新聞をみていけば分かるかと思います。

NTTでのお客様情報とは何を指すのかという通信の秘密と外延情報をいい、NTT西日本における電話加入数は1,500万件の企業、個人のお客様情報を扱っています。

お客様情報の検索等は担当部門により決められており、全ての社員が自由に検索できるものではありません。

たとえ検索できる担当部門でも、いつ、だれが、どのお客様の情報を検索したか全て記録を残してあります。

NTTではお客様情報を守るために徹底すべき事項が10項目あります。

業務上必要のない通話のモニターやお客様情報の照会、出力を行わない。

社内からの照会であっても安易に応じない

第三者(社外)からの照会には応じない

お客様情報の社外持ち出しは必要最低限とし常時携帯する。

出力情報は確実に廃棄する

出力情報は施錠管理する

お客様情報を電子メールで社外に送信しない
FAXの誤送信や郵便物の封入誤り、郵送先記載誤りに注意をする

お客様情報を自宅端末等に保存しない

電子記録媒体へのお客様情報のデータ記録を行わない

故意ではなく、うっかりミスであってもお客様情報を紛失、流出させるとペナルティ（処分）の対象となります。

- 会社などからお客様情報を含む会社情報等を持ち帰り、自宅のパソコンに保存した結果ウイルスに感染し、ファイル交換ソフト、いわゆるウィナーなどを介して情報が流出した。

- 自家用車にお客様情報の入ったカバン、パソコンが車上荒らしにあり、お客様情報が流失した。

- お客様情報をFAXで誤送信させてしまった。

- お客様情報の入った封筒のあて先を間違えてしまった。

等々 日々の業務をしていく中で、多くの危険が潜んでおります。お客様情報の管理について皆様の職場等で今一度確認をしてみてください。

（担当 / 増田）